

東京都低NO_x・低CO₂小規模燃焼機器認定委員会（令和元年度第3回）議事録

1 日時 令和元年12月16日 午後2時から午後4時まで

2 場所 東京都庁第二本庁舎20階 20B会議室

3 出席者

（委員）森吉委員長、上道委員、松村委員

（東京都）高橋大気保全課長、小熊課長代理、石塚課長代理、増田課長代理、前川

4 議題

（1）低NO_x・低CO₂小規模燃焼機器の認定申請の状況について

（2）低NO_x・低CO₂小規模燃焼機器の認定審査について

（3）その他

5 議事

○小熊課長代理 では、定刻より少々早いですが、皆様お揃いになりましたので、ただいまから、令和元年度第3回東京都低NO_x・低CO₂小規模燃焼機器認定委員会を始めさせていただきます。

会議進行について、委員長に引き継ぐまでの間、本会議の進行をさせていただきます大気保全課の小熊でございます。よろしくお願いいたします。

議事に入る前に、本日の会議について補足させていただきます。この会議は、低NO_x・低CO₂小規模燃焼機器認定委員会の組織及び運営に関する要領第7の規定に基づきまして、公開となります。ただし、議事2の低NO_x・低CO₂小規模燃焼機器の認定審査については、東京都情報公開条例第7条第3号に係る案件となりますので、非公開とさせていただきます。

また、同要領第8の規定に基づき、議事録を作成し、東京都情報公開条例第7条各号に掲げる非公開情報に該当する部分を除き、原則として公開しますので、お含みおきください。

では、開会に先立ちまして、大気保全課長の高橋より一言ご挨拶させていただきます。

○高橋大気保全課長 大気保全課長、高橋と申します。よろしくお願いいたします。

本日は、年末お忙しい中、第3回の低NO_x・低CO₂小規模燃焼機器認定委員会にご出席いただきまして、誠にありがとうございます。

当局では、ご存知のとおり、これまでNO_xの排出削減対策に取り組んできておりまして、その一つとして、この低NO_x・低CO₂の小規模燃焼機器の認定制度というのを続けてきているところでございます。

さらに、前回の要綱を改正しまして、給湯器については今回からこれまでの事業用に加えまして家庭用も認定の範囲に入れてございます。本日の委員会では、機器の認定に関しては20件申請がありまして、この件数の中には今申し上げました家庭用の給湯器も認定の申請が含まれているというところでございます。

東京都では、今後もこの認定制度を使いまして、より低い低NO_x・低CO₂の優れた燃焼機器の普及拡大を図っていきたくと思っております。委員の皆様におかれましては、技術的、専門的な観点から、機器の認定に向けた議論をお願いしたいと思っております。活発なご議論をお願いいたしまして、挨拶とさせていただきます。よろしく願いいたします。

○小熊課長代理 次に、出欠報告ですが、本日は草鹿委員、小野田委員より事前にご欠席のご連絡をいただいております。

では、続きまして資料の確認ですが、今回より本認定委員会におきましてもペーパーレス化の観点からタブレットを採用させていただいております。先ほど使用方法についてはご説明させていただいているかと思いますが、データはサーバーから直接取り入れておりますので、皆様同じものが表示されているかと思っております。

ページを飛ばす場合ですが、左右に指を動かしていただければ、それで動きますし、あとは右下のところ、三角形があります。クリックしていただくことで次のページにいけます。また、右上のところ、ログアウトとありまして、その左側に四角形が6つ並んでいるのがあるかと思っております。これをクリックしていただくと、各ページが小さくなって表示されますので、これで直接ページのほうも、該当ページをクリックしていただければ、それが拡大されて表示されるような形になるかと思っております。

では、一番左上のファイル一覧をクリックしていただきますと最初の画面に戻ります。

それでは、議事に入らせていただきます。これ以降の進行は、森吉委員長をお願いしたいと思っております。委員長、よろしく願いいたします。

○森吉委員長 それでは、議事に入らせていただきます。

議事1番の低NO_x・低CO₂小規模燃焼機器の認定申請の状況について、事務局から説明をお願いいたします。

○小熊課長代理 では、タブレットのほうですが、一番下のほう、R1-3の03資料1、申請状況というファイルを開いていただければと思います。前回委員会以降に申請された分の申請の状況を一覧にしております。

今回は内燃機関の申請はございませんでした。全てこの後ボイラー類になります。その中ですが、まず蒸気ボイラーが2機種、温水発生機が1機種で、給湯器、前回まで業務用給湯器だけでしたが、今回から家庭用給湯器が入っていきまして、なおかつ今回は家庭用のみの申請となっております、これが合わせて12機種ございます。あと冷温水発生機が合わせて5機種となっております。

また、グレードダブルA、グレードシングルAですけれども、前回までは申請者側でグレードも含めて申請が来ていましたが、今回からは測定結果等々を加味して、東京都側でグレード分けをしているところであります。

次のページへ移っていただきまして、これはNO_xの削減方式別に分けたものでございまして、蒸気ボイラーは、火炎分割が2機種、温水発生機は完全予混合、給湯器は濃淡燃焼、冷温水発生機は自己再循環という形になっております。毎回ですが、複数のNO_x低減方式を組み合わせているものがほとんどでございまして、こちらは代表的なものを各メーカーさん挙げていただいているようなところです。

次のページ、3ページ目へ移っていただきまして、今度はCO₂低減の方式で、蒸気ボイラーはエコマイザーの採用、温水発生機は伝熱量の増加、給湯器が伝熱効率の向上と伝熱量の増加と分かれています、これは申請者さん側でそのように判断されています。この後ご説明させていただきますが、排熱の再利用のような形になっております。冷温水発生機は、冷凍サイクルの最適化ということで、これも複数のやり方を組み合わせるメーカーさんのほうで申請されてきているものでございます。

資料1につきましては以上でございます。

○森吉委員長 ありがとうございます。

では、特に質問なければ、次の議事に入らせていただきたいと思います。

議事2の低NO_x・低CO₂小規模燃焼機器の認定審査についてです。これ以後、非公開ということで進めさせていただきます。

(この間、議事2について討議)

○森吉委員長 それでは、議題の3に入ります。これ以後公開となります。

その他について、事務局からご説明をお願いします。

○小熊課長代理 ありがとうございます。次回委員会は2月中旬に第4回の委員会を行わせていただきたいと考えております。

恐らく今回と同様、家庭用給湯器が幾つか申請があるかなと想定しますので、よろしくお願いいいたします。

○森吉委員長 それでは、以上で、本日の議題は以上となります。事務局にお返しします。

○小熊課長代理 どうもありがとうございます。

本日の議事録につきましては、でき次第ご確認いただくような形でメールで送らせていただくことになるかと思っておりますので、よろしくお願いいいたします。

○前川 前回の議事録につきましてはメールでお送りをさせていただいているところですが、何か御意見ありましたら本日から1週間程度を目安にご意見いただければ、それを反映させていただきますので、よろしくお願いいいたします。

○小熊課長代理 事務局からの連絡は以上でございます。

では、これもちまして、第3回の認定委員会を終了させていただきたいと思っております。本日は長時間にわたりましてご議論いただきまして、どうもありがとうございました。